

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「家」というグループホームの根本を軸に事業所独自の理念である「その人らしい生活」、「利用者とその家族の幸せの交わる場所」に基づき、「地域に根付いた家づくり」をしています。	○	今後も地域に根付いた「家」として理念をしっかりと理解し取り組んでいきたい。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	新規採用時、会議時等理念を含んだ話し合いを行い何を軸に考えるべきか話し合っています。	○	今後とも理念をより理解し、理念に基づいたケアを行なっていく。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	重要事項説明書に記載し、説明させていただき、また入居時グループホームは家であることを理解していただいております。	○	運営推進会議、家族の方との交流会等で理念を伝えていき、よりいっそう地域と一体になった「家」にしていきたい。
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩や買い物など外に出かけた際は、ご近所の方と挨拶などを行っている。またお隣の理・美容室で利用者の方の髪を切っていただきながら、日常会話をしたり、ご近所づきあいをさせていただいています。	○	今後も継続していき、より深いご近所づきあいをしていきたい。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の住民の方を招き、ホームでフルートコンサートを開催、近隣の幼稚園の子どもたちと交流をもつなど地域とのふれあいの場をつくっています。	○	運営推進会議のなかでも地域の方々にお祭り、運動会、イベントなどへの参加を呼びかけていただいたので積極的に参加していきたい。

グループホーム太陽・さくらユニット

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	現在、第一に御利用者様、ご家族を中心に運営、生活支援を行っている状況ですが、今後地域に役立つ場とし、地域貢献していく考えです。	○	今後は地域の民生委員の方、地域包括センターとも協力し、高齢者の方等が気軽に立ち寄ることができ、地域の人々が相談できるような場所にしていきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回初めての自己評価、外部評価を行うにあたり、自己評価により自分たちを見つめなおすこと、外部評価により第三者はどのように感じるかをしっかりと考え改善していくことは確実に取り組みたいと思います。	○	今後とも継続していく。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	第一回目の運営推進会議では地域のかたがたに「太陽」の紹介ができ、さまざまな意見交換ができました。今後ともテーマを決め地域との関わりをつくり、サービス向上に努めていきます。	○	今後とも継続していく。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	疑問点、問題点などがあれば、市の担当者と連絡を取り合い、指導を仰ぎ、サービス向上に取り組んでいます。	○	今後とも継続していく。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在特定の管理者のみが学び、理解している状態であり、事業所に各制度を理解したスタッフがいる体制です。	○	今後各スタッフ順次研修を受けたり、自社研修を行っていききたい。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	事業所内ではどのような状態、変化があっても虐待を見過ごすことの無いよう徹底しています。	○	今後とも継続していく。

グループホーム太陽・さくらユニット

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に利用料金等の説明を行い、ご家族の方の不安や疑問点について話し合いをし、同意、理解していただいています。	○	今後とも契約、解約に関して十分説明を行い、また利用者、利用者ご家族の不安をなくしていくことのできる話し合いをしていく。
	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	御利用者様、御家族の方には第三者機関である苦情窓口をお伝えしています。またホーム内では利用者様の御意見をきちんと聞き、ご家族と相談しケアに反映させるなどしています。	○	今後も利用者様本意の生活をしていただけるよう、しっかりコミュニケーションをとり、利用者の方のご意見をいただく。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月グループホーム便りを送り生活状況をお知らせし、日々の生活、健康状況の変化について電話や面会時などにお話をしています。	○	今後共、今以上に日々の生活について詳細をお伝えしていきたい。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書にもホーム苦情担当を記載、また公的苦情場所も記載し、苦情、意見をどこに、誰に伝えることができるかを明確にしています。またご家族のご意見は「より良いグループホーム」づくりをしていくための貴重な意見と捉え、伝えやすい雰囲気作りを行い、意見投書箱を設置しています。	○	今後も継続し、ご家族とホームが相談しあうことのできる雰囲気作りをしていく。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体会議以外でもスタッフの提案や意見を聞く場を開き、意見を反映するように心がけています。	○	今以上にスタッフの意見を聞く場を設けていきたい。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	御利用者様の体調、状況の変化等により、勤務時間等の調整を行い、状況の変化に応じて勤務調整に努めています。	○	今後とも継続していく。

グループホーム太陽・さくらユニット

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	御利用者様にとって継続的になじみある職員が支えていくことを重視しているが、事業所を立ち上げ1年が経つ中で、諸事情により離職することはあるが、御利用者様への負担がないようきちんと紹介し、早く馴染みの関係が作れるよう取り組んでいます。	○	今後とも継続していく。
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	何度か社内研修、社外研修を実施しているが、定着していない状況です。	○	今後研修報告書の作成をし研修報告者による勉強会等を行い、職員同士が切磋琢磨できる場所にしていきたい。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホームをはじめ各介護サービス種の管理者や運営者と交流を持ち、情報を共有することでサービスの質の向上に努めています。	○	今後とも継続していく。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	スタッフ個々の思いを聞くことにより、ストレスを軽減できるよう話し合いを行っているが、偏りがあります。	○	今後とも継続していく。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	理念を運営者、管理者、スタッフが正しく理解することにより、目指すところを明確にし、向上心を持ち働くことのできるよう努めているが、全員が同じ思いではないのが現状です。	○	今後とも継続し、全スタッフが向上心を持ち、働くことのできるよう取り組む。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご本人、ご家族の書類による情報を元に入所前にホームに来ていただき、お茶をしながらスタッフと、他の利用者様との会話などをして雰囲気を見ていただき、不安等を取り除くことができるよう取り組んでいます。	○	今後とも継続していく。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	申し込み時、または面談時などご家族の不安やご家族の気持ちを深く理解するよう努め、不安や心配に感じていることを解消する方法を過去の事例や現在のホームの状況を伝えながら、共に考え、受け止め、改善できるよう前向きな話し合いをしています。	○	今後とも継続していく。
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けたとき、また申し込み、面談を行う際、できるだけ細かい情報をいただき、その後利用者様に何が必要なのか、どんな心配事やご家族の悩みを持っているのかなどを確認し、その時々状況に応じて対応させていただいています。	○	今後とも継続していく。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご本人が安心して過ごすことのできるよう、ご家族、ご本人と相談した中で、不安に思っていることを傾聴する、またその解決法をゆっくりと何度も話すなどし、入所後の経過をご家族の方に報告しております。	○	今後とも継続していく。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生の先輩と思い、相手を尊重する気持ちを忘れず、常に会話を多く持つことにより職員の一方的な思いでの支持や行動を控え、より良い関係作りを心がけています。	○	人生の大先輩という認識をしっかり持ち、言葉かけや対応を心掛ける。

グループホーム太陽・さくらユニット

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族面会時、ご本人様の状況をお話し、その他にも管理者とご家族での会話を中心に、ご家族やご本人の考えを尊重しています。	○	今以上にご家族との密接な関係を築いていきたい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご家族が訪問されたときには最近の状況をお話しするなどし、御利用者様に応じて、居室でご家族とお茶をゆっくり飲んでいただいたり、フロアで全体の雰囲気を見ながら、他の御利用者様と接している状況を見ていただき、より良い関係作りに努めています。	○	今後とも継続していく。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ホームに来てくださる友人、知人の方々との関係は続いているが、各御利用者さまの馴染みのある場所に対する支援が課題として残っている状態です。	○	御家族の協力を元にお墓参り、御利用者友人にお知らせいただき、いつでも面会に来ることのできる環境づくりをしていきたい。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	ご利用者様同士の関係性についてスタッフは情報を共有し、ご利用者様同士、またはスタッフが一緒に交わりながら孤立しないよう努めています。またテーブル席等にも配慮し、関係づくりを心がけています。	○	時間を持て余してしまう時間、利用者様がないよう、スタッフが常に目を配り、気を配っていく。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	他施設に移られた御利用者様、ご家族とは面会させていただいたり、ご連絡を取らせていただいています。	○	今後も継続していきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々ただ会話をするのではなく、御利用者様が行っていること、話していることを情報として捉え、希望やできることを行えるよう努めています。	○	意向に添えないこともあり、その時、どのように支援していくかご本人、ご家族、スタッフで検討していく。
34 ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	御利用者様の歴史や背景の認識不足もありますが、生活の中で発見した事やご本人の思いや要望などは皆で共有し、ケアの取り組みに生かしています。	○	家族構成、入所までの経過や生活歴などもう一度再確認し、ケアに生かしていく。
35 ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	”常に何をしているか”を把握し、できること、できないことの判断をし、できること、できないことに対し支援していくよう努めています。	○	できること、できないことをスタッフ一人ひとりが理解し、情報を今以上に共有していき、統一したケアをしていく。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36 ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	利用者本人のための計画を作成していけるよう担当制とし、スタッフ皆で検討し、作成しています。	○	今後とも継続していく。
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	利用者本人の変化に応じた計画の見直しやカンファレンスを行っていますが、まだまだ実施内容の把握不足もあります。	○	ご本人ご家族との話し合いをできるだけ行い、介護計画に入れていきたい。

グループホーム太陽・さくらユニット

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	まだまだ記録不足な点もあるが、一日一日の出来事や記録を残すことにより、御利用者様の変化に対応しています。	○	一日の出来事や御利用者様の喜び、変化をしっかりと記録に残し、またしっかりと申し送りを徹底していく。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	御利用者、御家族の状況、要望に対しできるだけ柔軟に対応できるよう努めています。	○	今後とも継続していく。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進会議では区長、民生委員のかたに加わっていただき、現状や今後どのように地域の一員となるかを話し合い、また地域の幼稚園、小学校と交流を持ち、御利用者様の喜びにつながる支援を行っています。	○	今後どのように地域の一員となり、各機関とどのように協力していくかを話し合っていきたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	御利用者様、ご家族の意向や希望を聞きながら必要に応じて、ボランティア、訪問理美容サービスを利用しています。	○	今後とも継続していく。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括より御照会のあった御利用者様について、その後の生活などを報告し、長期的なケアの仕方について協働しています。	○	今後とも継続していく。

グループホーム太陽・さくらユニット

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	御利用者各々の体調や既往歴などをしっかり話し合い、各々の御利用者様にあった医療を受ける体制ができています。また、処方薬の大きな変更や体調変化に対する説明を御家族の方は受けることのできる体制です。	○	今後とも継続していく。
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	管理者が相談し、治療が必要な場合には速やかに治療を受ける体制を作り、ご家族との相談、医師よりの説明を受けることのできる体制です。	○	今後とも継続していく。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	協力医療病院に即対応していただき、細かいことでも対応していただける体制を作り、日常の健康管理、御利用者の体調変化にも対応できる体制です。	○	今後とも継続していく。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	協力医や入院病院のソーシャルワーカーとの連絡を密に取り、ご家族の協力と共にできる限り対応することを心がけています。	○	今後とも継続していく。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	御利用者様の状況変化等によりご家族との話し合いの場を設けたとき、ホーム管理者、または連携医師と話し合いをし、今後の方向性を相談しています。	○	今後とも継続していく。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	グループホームの終末期のあり方について主治医と随時話し合いをしているが、現在チームとして「できること・できないこと」を共有することができておらず、チームとしての動き、支援が足りない状況です。	○	今後、「グループホームの看取り」というものをしっかり意識し、できること、できないことの見定めや話し合いを行っていく。

グループホーム太陽・さくらユニット

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	他施設移動時、ご利用者様のホームでの生活状況を情報提供し、できる限りダメージを防ぐ取り組みができるよう連携し、その後のご家族や他施設相談員の方との相談等にも対応しています。	○	今後とも継続していく。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報については、基本的に身元引受人以外の方には話さないよう徹底しています。また声かけや誘導等の対応として御利用者様の立場にたったケアを大切にしているが、時に声のかけ方が乱雑になってしまっています。	○	人生の大先輩に対する尊敬、尊重する気持ちを大切に、声かけ、ケアに取り組んでいきたい。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	御利用者のやりたいこと、行きたい場所などを聞き、スタッフが共に行うようにしています。	○	今後、思いや希望を今以上に表すことができるよう工夫していく。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	できる限り、御利用者様のペースを大切に、希望に添えるよう対応しているが、スタッフの都合が優先で行ってしまうこともあります。	○	工夫の中で、ご利用者様本位な生活を行っていただけるよう努めていく。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	お持ちいただいた衣類の中で柄や色等に気を使い、ほめる等小さな心配りは行っていますが、「その人らしい身だしなみ」を深く考え対応していませんでした。	○	各御利用者様の「その人らしい身だしなみ」をスタッフ皆で検討し、また御家族の方にも相談し、その人らしい身だしなみができるよう努めていく。

グループホーム太陽・さくらユニット

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	協力病院との連携により栄養面を考え、見た目（色どり等）にも配慮しています。またご利用者様にも調理（包丁使用や野菜皮向きなど）、洗い物などできることを一緒に行っています。	○	御利用者様に食べたいものをお聞きし、取り入れていくよう努める。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	季節の食材を用意し、食事を提供し、また飴や果物など各自の嗜好品にも対応しています。	○	上記同様、今以上にご本人が望むものをお聞きしていく。
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	トイレでの排泄を行い、尿意、便意のない方でもトイレ誘導を行い、オムツの中の不快感をなくすよう取り組んでいます。	○	今後も継続していく。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	そろぞれのご利用者様に合わせて入浴を楽しんでいただけるような声かけ、誘導、入浴中の楽しみ方ができています。	○	今後も継続していく。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	御利用者様それぞれの生活パターンにあわせ必要に応じた睡眠がとれています。	○	今後も継続していく。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	季節の行事や毎日の日課の中での役割や散歩など張りを持った生活を行いながらゆっくり話を聞きなどして小さな喜びを大切に取り組んでいます。	○	御利用者様の役割を今以上に増やしていけるよう取り組む。

グループホーム太陽・さくらユニット

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	御家族の方のご協力をいただき、小額のお金をご自分で持っている方もおり、買い物時などにご自分でお支払いしていただくこともあります。	○	今後も継続していく。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩、ドライブ、畑、買い物、日向ぼっこなど日々の生活の中で外に出る取り組みを行っています。	○	今後も継続していく。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	御利用者様と相談し、希望を聞きながら季節に応じた行事や外食行事などを行なっています。	○	今後も継続していく。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人の訴えにより、電話をかけていただき御家族などと話し、声を聞き安心できるよう配慮し、葉書などはご本人様と一緒に読み上げご家族、ご友人からのお手紙を楽しんでいただくよう配慮しています。	○	お手紙などが来たときは御利用者様の状況に応じて支援させていただき、お返事を出す。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	ご家族、ご友人にはいつでも来ていただけるよう声をかけさせていただき、また訪問時はゆっくろお茶をしていただき、フロア、居室どちらでも過ごしていただけるよう配慮しています。	○	今後も継続していく。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	「身体拘束をしないケア」ということで法的な理解はもちろん、自分が、自分の親が拘束された時どんな気持ちになるかということを考え、「身体拘束をしないケア」の徹底に取り組んでいます。	○	今後とも継続していく。

グループホーム太陽・さくらユニット

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄 関に鍵をかけることの弊害を理解してお り、鍵をかけないケアに取り組んでいる	事務所、スタッフが皆鍵をかけることの弊害を理 解し、日中鍵をかけないケアに取り組んでいる が、御利用者様の状況により、数時間鍵をかける 事もあります。	○	今後ともどのようにしたら鍵をかけることなくケ アしていくことができるか話し合い、今以上に取 組んでいきたい。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しなが ら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握 し、安全に配慮している	居室に入るときはご本人の了解を頂き、プライバ シーに配慮することを心がけ、夜間帯は2時間、 日中は状況によって居室での様子を確認するよう 努めています。	○	今後とも継続していく。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのでは なく、一人ひとりの状態に応じて、危険を 防ぐ取り組みをしている	各御利用者様一人ひとり管理できるものはご自分 で管理していただき、個々の状態によって物品保 管、管理をさせていただいています。	○	今後とも継続していく。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を 防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態 に応じた事故防止に取り組んでいる	各御利用者様の危険性について会議の中、毎日の 送りの中で話し、注意しケアに取り組んでいま す。また、転倒事故等が起きた場合、書面に残 し、未然に防ぐために情報を共有するよう努めて います。	○	今後とも取り組んでいく。
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全て の職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的 に行っている	昼夜問わず事故、急変時には管理者へ連絡、状況 判断し連携医との対応とし、緊急時対応を徹底し ています。また初期対応として、各御利用者様の 危険性を話し合い、急変が起きたときの対応を話 し合っています。	○	随時勉強会を開き、初期対応の理解に努めてい く。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を 問わず利用者が避難できる方法を身につ け、日ごろより地域の人々の協力を得られ るよう働きかけている	避難経路の方法等は確認しているが、地域との連 携、協力については運営推進会議などで話し合い を行っている状況です。	○	今後運営推進会議などのなかで地域協力を働きか けていく。

グループホーム太陽・さくらユニット

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	御家族の方には一つの【家】であることを理解していただき、危険性について説明させていただいたなかで、家庭で過ごしているような生活を大事にし、また御利用者様の状況、体調変化がある時はご家族様に連絡を取り、現在の状況説明と危険性についてご説明しています。	○	今後とも継続していく。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝、入浴時、必ずバイタルチェックを行い、食事量や排便、顔色、体調変化を見逃さないよう意識し、小さな変化でも管理者に報告し、必要に応じて協力医と連携をとっています。	○	今後とも継続していく。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各御利用者様ファイルに処方箋を張り、服薬内容、副作用等がいつでも確認できるよう工夫しているが、認識、理解不足もまだまだあります。	○	今後勉強会等を開き、各御利用者様の細かい薬内容の理解に努めていく。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分補給、体を動かすことに気を配り、毎日排便の確認、便秘気味の方には服薬により改善できるよう努めています。	○	今後とも継続していく。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の歯磨きの声がけ、見守り、介助を行い、定期的に義歯の消毒、洗浄を行っています。	○	今後とも継続していく。
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	連携医の栄養士、主治医の指導の下、食べる量（栄養摂取）を考え、また水分は食事、お茶の時間以外にもできるだけ声かけをし水分を補給していただくよう努めています。	○	今後とも継続していく。

グループホーム太陽・さくらユニット

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染予防対策の一つとして殺菌性の強い機器を設置し、常に使用することを心がけ、またスタッフは感染症を理解し、手すり、机等の消毒トイレ後、食事前、外出時の手洗い、消毒などを行い予防、対応を行っております。	○	今後も継続していく。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板、布巾は毎日漂白し、衛生管理を行い、食材もこまめな買出し、早めの使用を行い予防を心がけています。	○	今後も継続していく。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関前の花壇に花を植え、明るい雰囲気をつくり、階段ではなく、スロープもしくはバリアフリーという形で安全面にも考慮しています。	○	今後も継続していく。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用スペースを自由に過ごしなが、時に音楽をかけたり季節の花を置き快適に過ごすことのできるよう心がけフロア壁には手作りカレンダー、行事写真などを飾り明るい雰囲気を心がけ、御利用者様の居場所づくりに努めています。	○	今後も継続していく。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	他利用者様と口論等にならないよう席順に配慮し、ご自分の席を持つことで安心し、またソファ等で気の合うご利用者様同士で過ごすことができます。	○	孤立してしまうことのないよう、スタッフが上手く入る。

グループホーム太陽・さくらユニット

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は御利用者様、ご家族様の意向を尊重し、使い慣れたもの、好みのもをおいていただくよう説明し、居心地のよい空間をつくることのできるよう配慮し、またベッドの位置、棚の位置等は御利用者様のそのときの状況を考慮し、ご本人と相談しながら配置換えをしたりといった工夫をしています。	○	今後とも継続していく。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	こまめな掃除、空気の入換えにより、気になる臭いを防ぎ空気循環に気を使いながら温度調節を行っています。	○	今後も継続していく
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部は居室、フロア、トイレ、入浴室等すべてバリアフリーとし、フロー内、台所等に設置された備品類もできるだけ単純なもの、住宅で使用する物を使用し、自立した生活を送るための配慮を行っております。	○	今後も継続していく
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	それぞれのできることを理解し、それぞれの生活の中で、できることをやっていただきながら、役割を持っていただき自立した生活をしていただいています。また会議の中でできること、できないこと、混乱してしまうこと等を話し合い、スタッフの中で情報を共有して取り組んでいます。	○	今後も無理なく自立していけるよう、できることを検討していき、できないことをできるようにするための工夫をしていく。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物の外回りにはボランティア、御利用者ご家族の方と花を植え、ベランダ前には畑があり、五感で楽しみ、また畑作業や草取りなど御利用者の楽しみ、役割に応じた環境をつくり、活用しています。	○	今後も継続していく。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

Ⅴ. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

グループホーム太陽・さくらユニット

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

事業所の理念「家庭的で尊厳ある生活環境の中で心身の力を生かし、安らぎと喜びのある場として利用者和その家族の幸せを追求する」をスタッフ全員で理解し、御利用者様が穏やかで尊厳のある生活を営むために太陽が存在することに誇りを持てるよう、創意工夫をし、ご利用者さまとご家族の幸せの交わる場所に出来るように努めていきます。また地域に根づいた【家】として地域住民の方、幼稚園、小学校など教育機関との交流を持ち、ご利用者様が地域の一員として安心して過ごすことのできる住まいにしていきたいと思います。